

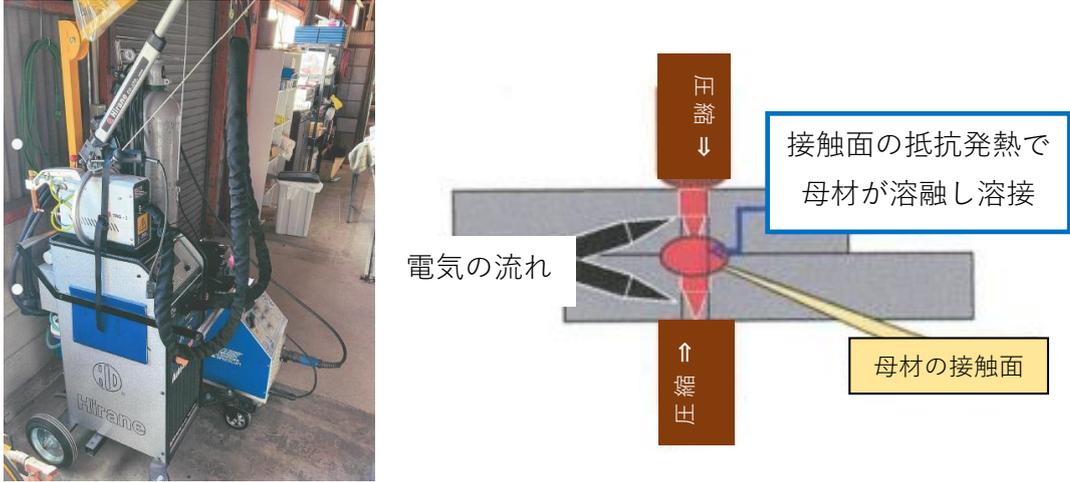
香川県事業者の未来への投資を応援する総合補助金 活用事例 原稿様式

従来からの事業分野	⑬医療・福祉	目的	省エネ化・再エネ導入
事業名	太陽光発電システム設置による電気代削減とEV車による往診事業の開始		
事業概要	太陽光発電システムを導入し、発電した電気を使用することで固定費を削減する。さらに、EV車を導入して往診事業を開始する。		
写真①	 <p data-bbox="411 902 695 931">太陽光発電システムの導入</p>	写真②	 <p data-bbox="963 902 1406 931">自家消費 + EV車導入による往診事業の開始</p>
既存事業の内容	むし歯、歯周病、口腔外科、補綴、歯列矯正など、顎や口の中のほとんどの疾患の治療のほか、予防歯科、小児歯科、インプラント、ホワイトニングなどの専門治療を行っている。		
取組内容	燃料費の高騰による電気、ガス等の水道光熱費の上昇、医療廃棄物の処理費用の上昇、パラジウム等歯科資材の価格高騰、物価対策のための従業員給与等経費の支出が増加している。経営の安定化対策として、太陽光発電システムを導入し、電気代を削減する。さらに、発電した電気を使用できるEV車を導入して、往診事業を開始する。		
補助事業の効果・成果	太陽光発電システムを導入することにより、発電した電気を使用できるため、電気代を大幅に抑え、固定費の削減につながる。また、新規に開始する往診事業では、EV車を導入し、発電した電気を使用することで、エネルギーコストを抑えながら広範囲の移動が可能となり、地域医療への貢献と経営の安定化につなげることができる。		
参考となるポイント等	太陽光発電システムの導入により、電気代を削減するのみならず、EVを利用した往診という新たな事業を開始し、地域医療への貢献や新たな雇用の創出につなげている点は、他の事業所においても参考になると考える。		

香川県事業者の未来への投資を応援する総合補助金 活用事例 原稿様式

従来からの事業分野	⑱その他	目的	省エネ化・再エネ導入
事業名	還水(高温の凝縮水)の再利用による地下水の使用量削減と排熱回収による省エネ化		
事業概要	熱の再利用と地下水の資源確保、処理費用の削減のため、工場内地下ピットへの配管を整備し、廃水を洗濯水、ボイラ給水として再利用する。		
写真	<p>【実施前】</p> <p>【実施後】</p> <p>給水温度+4.6℃ 配管経路追加 ジャケット排水 ボイラ用給水タンク 外缶排水2.3%/日 120℃ 給水温度+0.9℃ 配管経路改修 洗濯用貯水槽</p> <p>横断配管の追加</p> <p>地下ピットへの配管追加</p>		
既存事業の内容	<p>病院・施設用の寝具、白衣、カーテンなどの各種リネンサプライ、看護補助などの院内業務請負、院外滅菌受託業務、独自の手術用リネンリユースシステムの提供を通じて、医療・福祉の総合サービス業として「安心」と「安全」をお届けする事業を展開している。</p> <p>また、ホテル・旅館等へ宿泊リネン、宴会リネンなどへの各種リネンサプライの提供、製薬会社や食品工場の清浄衣・無塵衣・無菌衣等の提供を通じて、地域の観光業や産業の発展を下支える事業を展開している。</p>		
取組内容	<p>工場内設備で最も高温の工程を有する蒸気式滅菌装置は、真空脱気プリバキューム式を採用しており、真空ポンプによる強制空気排除を行ってから、缶内に蒸気を供給して滅菌工程を行っている。滅菌処理工程時に発生する蒸気ドレンや真空ポンプの冷却水は、廃水として隣接する自社の排水処理施設へ送っていたが、熱の再利用と地下水の資源確保、処理費用の削減を目的とし、工場内地下ピットへの配管を整備し、洗濯水、ボイラ給水への再利用を図った。</p>		
補助事業の効果・成果	<p>工場内で使用する全ての水が水源としての単純な再利用でなく、1次用途使用後の水温変化(熱)を効果的に再利用できる仕組みとなる。高温の凝縮水(還水)を活用することで、燃料費、給水費、排水処理費を削減できる。</p>		
参考となるポイント等	<p>既存設備を改修することで、廃棄していた高温の凝縮水を利用し、固定費の削減につなげている点は、他の事業所においても参考になると考える。</p>		

香川県事業者の未来への投資を応援する総合補助金 活用事例 原稿様式

従来からの事業分野	⑱その他	目的	生産性向上・コスト削減
事業名	スポット溶接機を導入して、業務効率化と技術伝承		
事業概要	専門資格を有するスタッフがを行っている溶接等の工程に、新たな設備を導入することで、作業時間の大幅な短縮、若手技術者の育成と定着を図るもの。		
写真			
既存事業の内容	板金塗装		
取組内容	新たな設備導入（スポット溶接機）により、従来必要であった作業（ガス溶接工程）が不要になり、作業時間を大幅に短縮することができる。また、初心者でも安全に作業することができ、レベルの高い修理が実現できる。		
補助事業の効果・成果	スポット溶接機導入後は、ガス溶接機資格を持たないスタッフにも作業を依頼することができ、作業に対するハードルが下がることで、若手技術者の育成と定着を図ることができる。また、作業時間の短縮により、受注台数の増加を期待でき、収益向上にもつながる。		
参考となるポイント等	業務効率化、生産性向上が課題であるという認識のもと、新規設備（スポット溶接機）を導入することにより、作業時間の短縮や作業効率の向上が見込めることに加え、溶接作業に対するハードルが下がることから若手技術者の育成、定着に寄与する事業内容であることから、他の事業者にも参考になると考える。		

香川県事業者の未来への投資を応援する総合補助金 活用事例 原稿様式

従来からの事業分野	⑤建設業	目的	生産性向上・コスト削減
事業名	ドローンによる3次元測定を内製化し、ICT活用工事の完全内製化を達成する		
事業概要	ドローン購入により「3次元起工測量」及び「3次元出来形管理」を内製化し、ICTの施工プロセス5工程のうち既に内製化済の3工程と併せ、ICT完全内製化を達成する。これにより現場作業の生産性を向上する。		
写真			
既存事業の内容	<p>県や市発注の公共工事および民間工事も行う総合建設業である。</p> <p>昨年度より、行政の推進するICT活用工事に積極的に取り組み、3次元データを作成・編集・管理するソフトを導入し、さらにマシンガイダンス機能を搭載したICT建機への投資も行うことにより、着実に現場作業の効率化と生産性を向上させてきた。</p>		
取組内容	<p>ドローン測量の内製化により、広範囲の地形や高難度の現場において、1度の測量で多くの点群データ取得が可能となる。これにより、作業時間の大幅な短縮や測量作業にあたる作業人員の削減が可能となるほか、人が立ち入ることが困難な場所での測量が可能となるなどの利点も加え、従来の測量に比べて飛躍的に効果的な測量を実現できた。</p> <p>これにより、既に内製化済の設計データ作成と建機施工と併せ、工事施工の全工程で生産性を向上する相乗効果を得た。</p>		
補助事業の効果・成果	<p>ドローンによる測量には以下の利点がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広範囲の撮影（測量）が容易にできる。 ・測量作業を行う場合に、現場施工を止めなくてもよい。 ・人が入るのが難しい箇所や危険な箇所での測量が可能である。 ・従来の測量業務に比べて、取得できる座標の数が膨大である。 ・従来より少ない人員で現場作業できる。 <p>以上の利点により、現場の利益率が向上した。</p>		
参考となるポイント等	<p>今後、生産年齢人口が減少することが予想されており、建設業就業者が減少・高齢化しているなかで、建設現場における生産性向上は避けられない喫緊の課題である。そのため、早期に現場の高度化、ICT完全内製化を達成することで、今後もノウハウを蓄積し、企業価値（会社の強み）を積み重ねることができる。業界のイメージアップにも繋がり、人材不足や若手雇用にも資する取り組みである。</p>		

香川県事業者の未来への投資を応援する総合補助金 活用事例 原稿様式

従来からの事業分野	⑱その他	目的	生産性向上・コスト削減
事業名	環境にやさしいドライミニラボを導入した写真店の継続		
事業概要	従来の設備から、省電力で環境にも優しい「ドライミニラボ（写真プリントを自動処理する小型プリンター）」に移行し、新たなサービスとして「動画変換保存サービス」や「証明写真のデータ販売」を開始する。		
写真①		写真②	
既存事業の内容	<p>①内製プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンやデジタルカメラで撮影した写真をプリント ・証明写真の撮影、写真修正、遺影撮影写真 ・フォトキーホルダー、昇華転写グッズ作成、販売 <p>②アルバム、フォトフレームなどの写真関連用品販売</p> <p>③メディア、ビデオテープからのDVDダビング（外注）</p> <p>④他社製品取次（外注）</p>		
取組内容	<p>ドライミニラボを導入し、新たに以下のサービスを開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●動画変換保存サービス 「スマートフォンで撮影した動画をDVDにしてほしい」、「メモリーがいっぱいになって撮影ができなくなった」との要望に応えるため、新たな設備導入（ドライミニラボ）により、外注していた作業を内製化する。 ●証明写真のデータ販売 顧客のプライバシーやセキュリティー面を考え、二次元コードを発行し、データをダウンロードしてもらう新システムを導入する。 		
補助事業の効果・成果	<p>ドライミニラボは従来の設備よりも省電力で薬液を使用しないため環境に優しい特徴がある。これにより、光熱費等の固定費削減も見込まれる。また、今回の取組みにより、様々なデジタル需要に対応できる時代に沿った店舗経営が可能である。</p>		
参考となるポイント等	<p>スマートフォンやタブレット等の普及による写真プリント数の減少に対応するため、従来の写真印刷機を最新の設備（ドライミニラボ機）に更新することにより、コスト面や性能面の向上を期待できることに加え、薬液を使わない印刷技術を採用することにより、環境面への配慮も考えている事業内容であることから、他の事業者にも参考になると考える。</p>		

香川県事業者の未来への投資を応援する総合補助金 活用事例 原稿様式

従来からの事業分野	①飲食サービス業	目的	生産性向上・コスト削減
事業名	リキッドフリーザー導入による活魚料理店の強み（魚の鮮度）を活かしたコスト削減		
事業概要	活魚料理店において、リキッドフリーザーを導入することにより、商品（魚）の鮮度の維持と魚の廃棄ロスの削減を図る。		
写真①		写真②	
既存事業の内容	当該活魚料理店の強みは、魚の鮮度が良いことで、鮮度を保つために店内に大きな水槽を作り、生きた状態で魚を仕入れ、水槽に入れて鮮度を保っている。お客様から注文が入り次第、魚を捌いて提供しているが、魚の大きさによっては、1匹の魚に対してその日の注文分では売れ残ることがあり、その部分は廃棄せざるを得なくなる。		
取組内容	細胞をほとんど破壊せず、品質を保ちながら凍結できるリキッドフリーザーを導入。1日で使い切れない切り身をリキッドフリーザーで凍結することにより、鮮度を維持したまま保存でき、廃棄コストの削減を図る。		
補助事業の効果・成果	店の原価率は41%だが、商品の鮮度を保持するため、この中で30%は廃棄している。リキッドフリーザーを導入することで、廃棄ロスの削減を図ることができる。		
参考となるポイント等	店の強みである魚の鮮度を維持しながら、魚の廃棄ロスの削減を図ることができる体制をつくる、一石二鳥の効果がある事例である。		

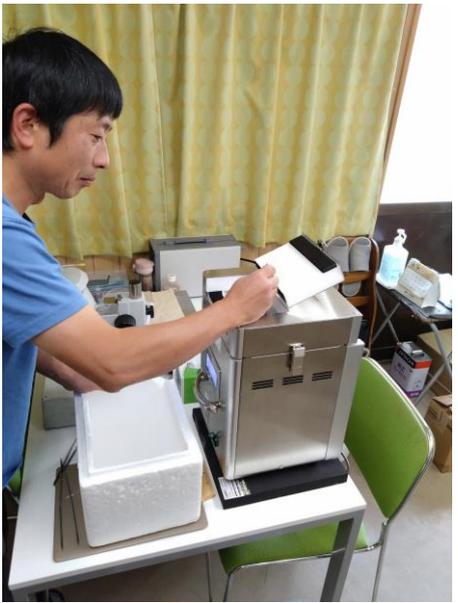
香川県事業者の未来への投資を応援する総合補助金 活用事例 原稿様式

従来からの事業分野	⑭理容業・美容業	目的	売上増
事業名	マイクロバブル発生装置の導入による営業利益の向上と雇用創出		
事業概要	1. マイクロバブル発生装置の導入 2. 顧客満足度の向上と髪のドライ時間削減による省エネ化		
写真①		写真②	
既存事業の内容	カット、カラー、パーマ、ヘッドスパ等を行う美容室。カウンセリングや毛髪診断により、顧客のニーズに合ったメニューを提供している。		
取組内容	①県内4店舗全てにマイクロバブル発生装置を導入 ②機器の導入による売上増及び固定費の削減により得た利益で県内に新店舗を出店し雇用創出		
補助事業の効果・成果	県内でマイクロバブル発生装置を導入している店は少なく、顧客からの評判も良いため、他の同業者との差別化を図ることができた。髪のドライ時間削減による省エネ効果に加え、従業員にとっても作業時間短縮や手荒れ症状の緩和につながった。		
参考となるポイント等	近隣同業者がマイクロバブル発生装置を導入していない中で設備導入を行い、顧客満足度を高めた事例であり、公表することで他の事業者においても波及効果が期待できる取組みである。また、従業員の負担軽減やドライヤー使用時間短縮による省エネルギー化など、売上以外の効果も大きい。		

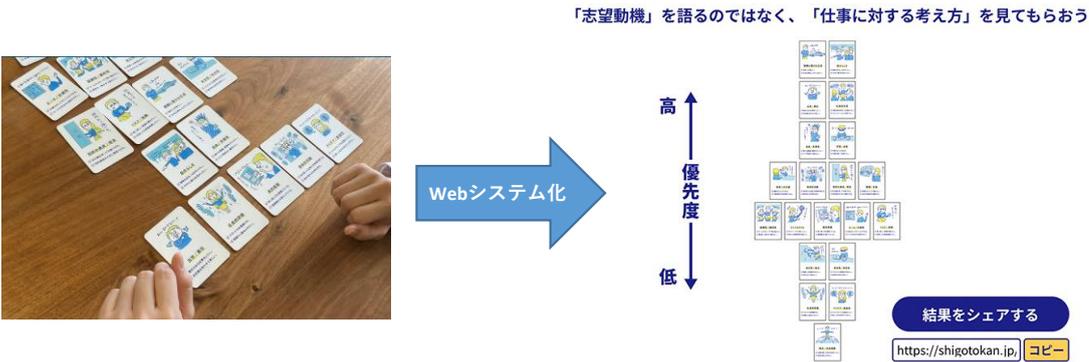
香川県事業者の未来への投資を応援する総合補助金 活用事例 原稿様式

従来からの事業分野	⑥製造業	目的	売上増
事業名	大型倉庫店からの受注増に対応可能な生産体制の構築		
事業概要	急成長している大型倉庫店からの注文増に対応するため、新たな設備導入を行うことで生産量を大幅にアップさせ売上増につなげるとともに、同時に生産性向上・固定費削減を図るもの。		
写真①		写真②	
既存事業の内容	1937年に薬の小売業として創業したが、1973年からは医薬品の製造販売を、1995年からは食品事業を開始。現在は食品事業を主力とし、素材の栄養に着目しながら、添加物を使用しないなど健康に配慮した商品づくりを行っている。		
取組内容	<p>2022年12月より、全国展開する大型倉庫店において、パンに塗るきな粉（同店舗専用サイズ）の販売を開始。2023年7月に全国ネットの番組で同商品が紹介されたことをきっかけに取扱店舗の拡大が決定する中、新たに、粉ふるい機、ピストン式充填機を導入することにより、大幅な受注増に対応可能な生産体制を構築する。</p> <p>①粉体原料のふるい通し作業：手作業 → 粉ふるい機 による自動化 ②充填・計量の工程：ギア式充填機 → ピストン式充填機 による生産効率の向上</p>		
補助事業の効果・成果	①粉体原料のふるい通し作業においては、粉ふるい機の導入により、作業人員は現行の1/2、作業時間は1/4に効率化でき、また、②充填・計量の工程においては、ピストン式充填機の導入により充填速度が現行の2倍となった。今回の設備導入により安定した生産が可能となり、1日あたりの生産量が大幅にアップしたことで長期的な売上増が見込めるとともに、生産ライン増強のための新たな雇用も生まれている。		
参考となるポイント等	健康面に配慮した新製品の売上が好調であり、新たな設備導入により急増する受注に対応可能な生産体制を構築するとともに、生産性の向上も目指しており、事業の継続性も期待できる事業内容であることから、他の事業者にも参考になると考える。		

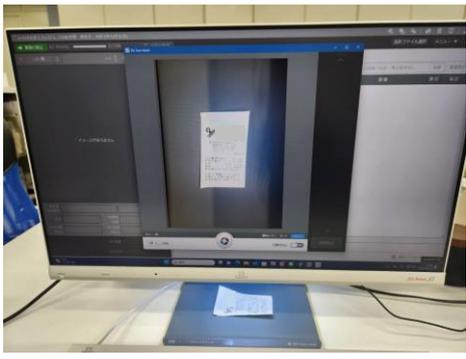
香川県事業者の未来への投資を応援する総合補助金 活用事例 原稿様式

従来からの事業分野	①農業	目的	売上増
事業名	牛受精卵増産のための受精卵凍結機の導入		
事業概要	受精卵凍結器を導入することで、県内の受精卵需要に対応できる供給体制を整え、自社の売り上げ拡大にもつなげる。		
写真①		写真②	
既存事業の内容	乳牛を約700頭飼養し、「牛にストレスをかけない酪農」を目指している。また、地域とも協力し「循環型酪農」及び「自社育成での乳牛100%確保目標」を掲げる等の特徴がある。加えて、和牛も約200頭を飼養し、子牛や受精卵販売にも力を入れている。		
取組内容	採卵（受精卵の採取）の過程で必要となる受精卵凍結器を所有しておらず、外注の凍結費用が年間100万円以上かかることが大きな負担となり十分な供給体制がとれていなかった。受精卵凍結作業は獣医師でなくてもできることから、受精卵凍結器を導入することで採卵コストの削減が可能となり、採卵頭数の増加により受精卵の増産につなげ、県内の受精卵需要に対応する。		
補助事業の効果・成果	受精卵凍結器を導入したことで、受精卵増産による売り上げ増加及びコスト削減が可能となり、県内畜産農家の受精卵需要にも対応する予定。		
参考となるポイント等	乳用牛、肉用牛ともに高能力な血統の牛を多数所有し、それらから生産した受精卵を自家利用のみでなく県内畜産農家にも販売していたが、凍結器を所有していないことがネックとなり十分な供給体制がとれていなかった。本事業を活用して凍結器を導入したことで効率的かつ安定的な受精卵供給体制が確立され、県内牛の高能力化に寄与することが期待できる。		

香川県事業者の未来への投資を応援する総合補助金 活用事例 原稿様式

従来からの事業分野	⑩その他	目的	売上増
事業名	採用ミスマッチを軽減させるオリジナル自己分析ツールのWEBシステム化		
事業概要	自社で開発・販売を行っている自己分析ツールのWEBシステム化		
写真①	<p style="text-align: center;">「志望動機」を語るのではなく、「仕事に対する考え方」を見てもらおう</p> 		
既存事業の内容	キャリアコンサルタントとして、企業側・求職者側双方の採用に関わる行程の一貫を請け負う「採用コンサルティング事業」と、企業の採用に関するホームページ・パンフレット・動画の制作や社員教育などを請け負う「クリエイティブ事業」を行っている。		
取組内容	<p>従来は、求職者が就職活動に当たって自己分析を行うためのオリジナルツール（紙媒体）を販売していたが、今回、このオリジナルツールをWEBシステム化し、誰でも無料で利用できるようにした。</p> <p>また、このシステムで行った自己分析結果を企業の採用応募書類に添付できるようにすることで、求職者の仕事観を採用企業側で把握できるようにした。</p>		
補助事業の効果・成果	紙媒体であったツールをWEBシステム化したことで、ツールの製作費・送料などのコスト削減に繋がった。また、誰でも無料でツールを利用できるようになったことで、採用する企業の増加が見込まれ、ツールの認知が広がることで自社の事業拡大に繋がることが期待される。		
参考となるポイント等	コスト削減を実現した点や採用企業の増加が見込まれる点は、他の事業者においても参考となるものとする。		

香川県事業者の未来への投資を応援する総合補助金 活用事例 原稿様式

従来からの事業分野	⑱その他	目的	売上増
事業名	AIによる業務改善と自身のクライアントへの経営改善サービスの提供		
事業概要	業務改善システムの導入及び財務改善メニューの拡充		
写真①		写真②	
既存事業の内容	香川県を中心に四国・関西エリアで活動し、主に税務顧問、記帳代行サービスを提供している。		
取組内容	<p>税理士事務所メインの業務である仕訳入力業務において、従来手入力で業務を行っており最も時間のかかる業務であった。</p> <p>今回、「AI-OCR」を活用したシステムを導入することにより、請求書や領収書を読み取ったあと自動的に仕訳ができるようになり、業務時間の大幅削減が可能となった。</p>		
補助事業の効果・成果	<p>今まで手入力で行っていた仕訳業務において、新システムの導入によりAIが担うことで業務時間の大幅削減が可能となり、創出した時間によって新たな財務改善サービスを開始することで売り上げ増加を見込んでいる。</p>		
参考となるポイント等	<p>「AI-OCR」を活用した業務効率化を行うことで、創出した時間により、新たなサービス展開が可能となったことから、売上増にもつながっており、他の事業者においても参考となるものと考えられる。</p>		

香川県事業者の未来への投資を応援する総合補助金 活用事例 原稿様式

従来からの事業分野	①農業	目的	売上増
事業名	安定収益を創出するための農家民宿で新事業展開		
事業概要	新規事業として農家民泊の運営と農作業などの体験を売りにしたサービス展開と農産物販売強化		
写真①		写真②	
既存事業の内容	キウイフルーツ農家		
取組内容	新事業として農家民泊に挑戦し、安定した収益を確保するだけでなく、イベントや農業体験などを企画することで、農作物の販売強化や地域の交流などを旨とするもの。		
補助事業の効果・成果	農家民泊のオープン直後から予約が入り、県外からの視察や体験研修などでの利用もあり、県外の就農希望者との交流が活発化している。		
参考となるポイント等	農家民泊の運営により安定した売り上げを生み出し経営の底上げになるだけでなく、イベントや農業体験などを行うことで、新たな顧客層と繋がり農産物の販売強化に繋がることが考えられる。また、老朽化した古民家の再生は地域の手本になるものと考えられる。		